

組みます。

本市を応援していただく「ふるさと応援寄附金」については、全国に本市の物産や観光をアピールできる手段として引き続き取り組みます。

公共施設のあり方については、庁舎跡地及び学校跡地の活用も含め、「うるま市公共施設等総合管理計画」に基づき推進します。

また、与那城庁舎の跡利用については、宿泊施設としての利活用を図り、滞在型観光への転換を推進します。

分野横断施策について

なお、本市の課題となっている「健康づくり」「子どもの貧困対策」「島しょ地域振興」については、各部署が連携して取り組む必要があることから、次の10年を見据えた「第2次うるま市総合計画」において、分野横断施策として位置づけております。

その中で「健康づくり」については、新たに食育推進計画を盛り込んだ健康増進計画「第2次健康うるま21」を策定しております。この計画に基づきライフステージごとの健康課題を踏まえ、妊娠期を含むできるだけ早い段階から健康的な生活習慣の確立を目指します。

また、慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策などの生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組みます。

さらに地域のつながりを強め健康を支えるための社会環境づくりを推進し、市民の生涯を通じた健康づくりを支援していきます。



【骨盤調整エクササイズ(健康フェスタinうるま)】

「子どもの貧困対策」については、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることなく、貧困が世代を超えて連鎖することのない社会を目指し、国の補助金や基金などを活用した事業に引き続き取り組みます。

また、経済的理由により就学困難な家庭に対して負担の軽減を図る就学援助制度の充実に努めるとともに、新たに小学1年生の新入学用品準備金の前倒し支給を実施します。

さらに、「若者就業支援プログラム」を新たに実施し、未就労者の資格取得

を支援することで就労に繋げていきます。

「島しょ地域振興」については、旧宮城小学校跡に宮城島コミュニティ防災センター及び高齢者福祉施設、旧比嘉小学校跡に防災避難施設の整備に向け引き続き取り組みます。

また、地域おこし協力隊の支援による地域の魅力を活かした振興策や津堅島での耕作放棄地再生事業などに取り組み、地域活性化を図ります。

さらに、島しょ地域における情報通信格差の解消のため、平安座・宮城・伊計・浜比嘉島において本島と同様な超高速ブロードバンドサービス環境の整備を支援します。



【浜比嘉島の昔ながらの町並み】

4 結び
以上、平成30年度の市政運営にあたり、私の所信と予算案、主要事業の概要について述べてまいりました。

平成29年度は、新たな10年間のまちづくりの指針である「第2次うるま市総合計画」がスタートしました。

これまで推進してきた市民協働のまちづくりを踏まえながら、将来像の実現に向けて取り組んでいるところでございます。

本年度は、世界遺産や社会体育施設等を活かした観光振興への取り組み及び地域経済の更なる振興と雇用問題など日々変化する社会情勢に対応するため組織機構の再編を行います。

本市のさらなる飛躍を目指し、市全体の活性化に向けてこれまでの取り組みをさらに加速させるとともに、スピード感を持って課題解決に全力で取り組む所存でございます。

市議会並びに市民の皆さまには、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の施政方針といたします。

平成30年2月21日

うるま市長

島袋俊夫